

# 濁浪の海と化す

## 親子で知る洪水シミュレーションと 新旧防災リテラシー

濁浪の海……洪水のとき、一帯が泥の海のようになること。

防災リテラシーとは……リテラシーのももとの意味は「読み書きそろばん」、つまり生きていくのに必要とされる力のことです。

ここでは防災リテラシーとは、洪水など大きな災害にあったときに、どのように行動すればよいかあらかじめ対策しておくことを言います。

明治43年の大洪水被災地域図



※赤字は明治43年当時の名称



**百香(ももか)ちゃん**  
小学校3年生。アモアで荒川や洪水のことを知り関心を持つ



**お母さん**  
北区在住。祖父から明治43年の大洪水について伝え聞いている

### 明治四十三年の大洪水

百香 ねえ、お母さん、今日学校でアモアってところに行つたの。アモアって知ってる？

お母さん 知ってるわよ。北区志茂の荒川知水資料館でしょ。赤水門(旧岩淵水門)のほうへ散歩するときに、見学に寄るの。

百香 今日ね、その池で植物の観察したんだけど、アモアのお姉さんに、おもしろいこと聞いちゃった。荒川って、あ

のへんから海までは人が掘つた川なんだって。知ってた？

お母さん ええ、おじいちゃんから聞いて知ってたわ。昭和の初め(昭和五年・一九三〇)にできたそうね。

百香 河川敷も、川幅もすごく広いよね。どうしてあんなに大きな川を掘つたんだろう？

お母さん それはね、明治の終わり頃(明治四十三年・一九一〇)に荒川や綾瀬川があふれて、埼玉や東京府に大きな被害があつたからなの。

百香 東京府？

### 明治の防災対策(リテラシー)

井戸が濁流で汚れないよう一回り大きい桶をかぶせておく

土を高く盛って水塚を作る



普段から避難できる場所を決めておく(例: 上野の山)

避難する時は棒などを持って、水面下を探りながら歩く

避難用の舟を用意しておく

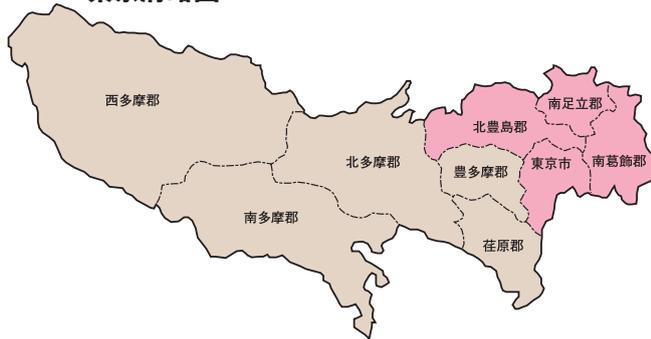


洪水に家を流されそうなときは、戸を開けておく

近くの丈夫な樹木と家を縄などで結んでおく

樽を並べ、板を渡して、畳や家財道具を載せておく

### 東京府略図



### 東京市略図



荒川の赤水門と青水門

### 数字で見る洪水被害(8月17日・東朝新聞)

	市部	郡部
浸水家屋	143,403	42,234
救助戸数	15,346	66,346
救助人員	52,551	179,600
死亡人員	11	16
負傷人員	0	42
流出家屋	25	45
堤防決壊	0	162
河岸崩壊	0	93
道路潰滅	0	135
橋梁流出	0	35
浸水面積	1,098	19,955

お母さん 明治の頃は東京府のことをそう言ったの。中心部は東京市といって十五区しかなかったのよ。ほら、この地図を見てごらんさい。

百香 ほんとだ。東京市浅草区だって。あれ、北区がないよ。

お母さん その頃は北豊島郡だったからよ。

百香 南足立郡、南葛飾郡っていうのもあるね。

お母さん 埼玉や今あなたが言ったような郡や、下谷区、浅草区、本所区、深川区は腰や胸まで浸かるような洪水だったのよ、明治四十三年の時は。

百香 家が沈んじゃうくらい？

お母さん 伊藤左千夫っていう人の家は屋根まで水が来たそうよ。

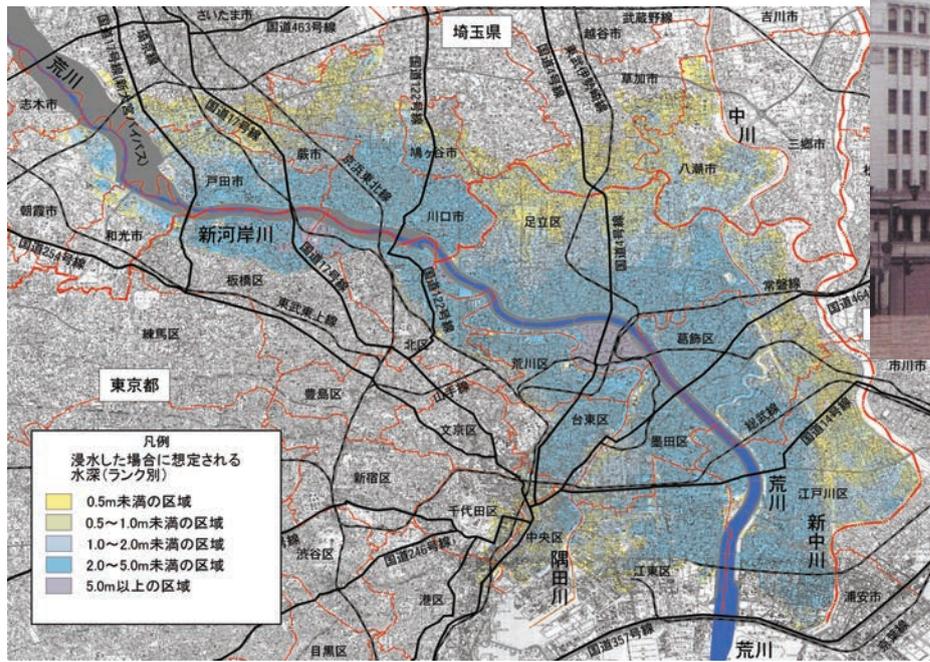
百香 イトウサチオって誰？

お母さん 昔映画にもなった『野菊の墓』を書いた作家よ。伊藤さんの家は本所区茅場町にあつてね、今の錦糸町駅の南口。そこに牧場があつて、乳牛を飼ってたんですって。洪水のときは、子ども九人と乳牛二〇頭を連れて、両国の知り合いの家まで避難したそうよ。

百香 その頃の人って洪水にそなえてどんな準備をしてたんだろ？

お母さん 水害が昔から多いところで水塚を作ったり、舟を軒に吊るしてお

## 荒川浸水想定区域図



浸水想定区域図で想定される  
銀座の浸水状況



浸水予測の掲示

## 数字で見る洪水被害予想

浸水想定区域	東京都及び埼玉県内 68 市区町村
浸水面積	約 1,100 平方キロメートル
人口	540 万人
地下鉄水没	最大 81 駅、延長 121km

いたりしたそうよ。水塚っていうのは、土を高く盛って、その上に建物を建てて、お米などをたくわえておき、いざというとき避難したの。北区にも残ってるのよ。

百香 そうなんだ。でも、それって全部のおうちにあったの？

お母さん 農家や一部の家ね。昔は平屋が多かったから、樽を二つ並べてそこに板を渡して、畳や家具を上げておいたり、二階のある家は二階へ大事な物を上げたりしたそうよ。

百香 伊藤さんちは？

お母さん 離れの茶室を普通の床より高くしてあって、そこに小さい子は寝かせたらしいけど、そのうちどんどん水が増えて避難したのよ。

私たちも洪水にそなえて、普段から危ないところを知っておかないとね。道も溝も濁った水で見えないから。

百香 でも、最近、東京で大洪水って起きてないんでしょう？

お母さん 明治の大洪水がきっかけで荒川放水路をつくったからね。隅田川には荒川の洪水が逆流しないように赤水門をつくったから、安心して住めるようになったの。

百香 赤水門、アモアのそばで見たよ。今は青水門（現在の岩淵水門）がその役

## もし、大洪水になったら

割を果たしているんだよね。

お母さん そうよ。それに、堤防は昔の二倍くらいの高さになっているし、頑丈につくってある。放水路や堤防が町を守っているのね。

百香 でも、もし明治の大洪水みたいのが起きたらどうなっちゃうんだろうね？

お母さん 昔田んぼだったところに今は家が建って、人口がすごく増えているから、昔と比べて被害はすごく大きいでしょうね。この浸水想定区域図を見てごらんさい。

百香 荒川がもし決壊したら…ずいぶん広範囲に広がっちゃうね（一一〇〇平方キロメートルに及ぶと計算されている）。

お母さん 銀座も水没しちゃうかもしれないのよ。地下鉄の入り口から濁った水が流れ込むかもしれない。

百香 もし、そうになったら避難してくださいっていう情報を早く知りたいね。

お母さん 明治の頃は電話も一部の家にしかなかったし、ラジオはないし、警報はメガホンで知らせにきたんだって。そこへ行くと今は、携帯やパソコンでも

## 現代の防災対策(リテラシー)

携帯電話、パソコン、ケーブルテレビ、ラジオなどで水位情報や避難情報を早く知るようにする

洪水ハザードマップで避難経路などをあらかじめ確認する

飲料水・食料・携帯電話など非常持ち出し品を準備しておく

お年寄りなどの災害弱者を普段から把握しておき、避難するときは声をかけあう

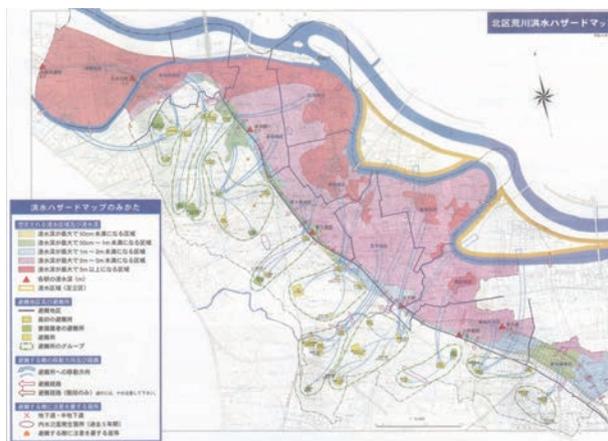
浸水場所を歩くときは水面下の安全を確認できるように棒などを持つ

切れた電線など危ない物、危ない場所に近寄らない



災害時にも利用できるリバーステーション

## 洪水ハザードマップ



状況がわかるから便利ね。

百香 災害伝言ダイヤルとかケーブルテレビ、ラジオもあるもんね。

お母さん それから避難ルートや危ないところは、自治体で配っている地図(洪水ハザードマップ)で知っておかないとね。

百香 避難するときはどんな物を持っていったらいいの？

お母さん ラジオ、携帯電話、懐中電灯、ろうそく、ライター、飲料水、食品、救急箱なんか用意しておくといいわね。

百香 それ、うちでは用意してあるの？

お母さん ……これから。

百香 お母さん、だめじゃん。うちには、おじいちゃんだっているんだよ。

お母さん そうね。おじいちゃんは年だから私たちがちゃんと避難させてあげなくちゃ。

百香 お父さんが会社に行ったら連絡取れるようにしなきゃ。

お母さん そうね。みんなで相談しておきましょう。

百香 服装とかは？ 避難のとき、注意することは？

お母さん 動きやすい格好ね。両手が入れるように、リュックとかに荷物を入れて。それから歩くとき、溝とかマンホールとか探れるように棒を持ってい

くといいわね。

百香 うーん。なんだか、今日はいろいろ勉強しちゃったなあ。で、話が元に戻るけど、何だっけ、伊藤さんって偉かったね。子ども九人と乳牛二〇頭までつれて濁った水の中を避難したなんて。

お母さん そうねえ、偉いわね。「水害また水害、水害の中で苦闘してるんだ」と書き残しているわね。うちのお父さんは大丈夫かしら。

百香 お父さんだって大丈夫だよ！

お母さん お父さん、最近太り気味だから、避難するとき長く歩くの大変そうなんだもの。今のうちに鍛えてもらわなくちゃ。

百香 私もいっしょに荒川の土手を走っちゃおう。ようし、がんばるぞ！



お問い合わせ  
国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課  
電話：03-3902-2311